

分担金・拠出金の名称	経済協力開発機構・開発関連(DAC)拠出金	平成28年度 予算額	12,437千円	総合 評価	B
拠出先の国際機関名	経済協力開発機構(OECD)開発援助委員会(DAC)				
国際機関の概要	DACは援助政策を議論するOECDの委員会。(i)持続可能な開発の資金を監視、評価、報告、促進する(援助統計)、(ii)開発協力の政策と実施をレビューする(援助審査)、(iii)開発援助の質と効果の向上のため、分析、ガイダンス、参考事例を提供する(援助の質の向上)、(iv)変化するグローバルな開発構造を分析し、その形成に貢献する、(v)OECDの他の政策コミュニティと連携し、グローバルな公共財と開発のための政策一貫性の考えを普及する、(vi)DACの活動の関連や包摂性を確保するよう、非加盟国、国際機関、民間セクター、市民社会代表を関与させることを目的とする。我が国、米、独、仏、英、加、豪、EUははじめ29のメンバーから構成される。				
評価基準		達成状況			
1. 当該機関等の専門分野における影響力・貢献	DACは、「貧困者に配慮した経済成長を含む持続的開発、貧困削減、途上国の生活水準の向上、及び援助に依存する国がない将来へ貢献するための開発協力と他の政策の推進」を目的に、具体的には、各国援助実績の公表、ODA計上方法等の援助に係る国際ルールの設定、開発効果向上や三角協力等の取組を推進するフォーラム。持続可能な開発目標(SDGs)に関連して、国連と協力し、ODAより広い概念での公的開発資金の捕捉枠組みの設定等に取り組むほか、途上国・市民社会を含む多様な開発主体をとり込んだ「効果的な開発協力に関するグローバル・パートナーシップ(GPEDC)」の共同事務局を国連とともに担い、包摂的且つ持続可能な開発協力の効果的実施に向けた取組を推進する上で大きな貢献をはたしている。				
2. 我が国重要外交課題遂行における当該機関等の有用性(意思決定における我が国のプレゼンスを含む)	ドナー国が同じ基準に基づきODA実績を申告する機関であるDACの活動は、我が国がドナー国のODAの流れ・量を把握する上で、また我が国のODAの実績を国際社会に説明する上で有用であり、同基準の策定を含むかかる作業は我が国のみで為し得るものではない。さらに、開発を巡る国際情勢に合わせて、必要な部分にODAが流れ易くするための、また新たな開発援助の流れを取り込むためのODA計上方法の策定は、我が国がより効果的なODA政策を策定し推し進めることに資する。我が国のプレゼンスとしては、上記のODA計上方法を議論する統計作業部会の副議長を務めているほか、2016年からは難民と移民に関する作業部会の共同議長を務める。これらのDACにおける国際的枠組みに係る議論や諸活動への積極的な参加・貢献を通じて我が国の開発協力の対外発信、理解促進が達成され、国際的な開発協力の理念・潮流の形成過程で我が国の経験・知見・政策が充分反映されている。				
3. 当該機関等の組織・財政マネジメント	DAC事務局(DCD:開発協力局)は、ビューロー会合(DCD局長、DAC副議長3名、事務局)以外に、各DAC下部組織(統計作業部会等)に各国DAC代表から選出されるDACファシリテーターを置き、DACの動向を全体的に把握し、ファシリテーター会合の開催など加盟国に共有できるような組織マネジメントの工夫を行っている。2017-18年の2カ年予算作業計画は、SDGsの策定を受け、活動項目は15項目に増加したが、DACの活動に優先順位を付け、各国拠出から必ず支出する項目と、任意拠出が集まれば支出する項目を分け、当初予算より2百万ユーロの予算を削減し、予算効率化に取り組んだ。我が国はこれまでDAC副議長(2012年-14年)として、また統計作業部会副議長としてビューローに参加。会合の適切な議題設定、DACメンバーとの情報共有、他の下部会合との効率的なスケジュール調整等、事務局の組織マネジメント改善に貢献。今夏には、「DAC変革のためのハイレベルパネル」を設置し、DACの効率的な組織運営やあり方に関し集中的に議論のうえ2016年以内に勧告を含むパネル報告書が提示される。				
4. 当該機関等における邦人職員の状況	・DACの事務局であるDCDに占める邦人職員の割合は2016年7月時点で1.0%(邦人職員1名、DCD全体職員数100名)であるが邦人職員の状況改善に向けて取り組んでいる。なお、DAC事務局(DCD)からは、応募要請があるなど、優秀な日本人の採用に前向きである。				
5. 我が国拠出の執行管理、PDCAサイクルの確保	DACでは、以下のとおりPDCAサイクルを確保。 ①Plan: DACの2か年作業予算計画(PWB)をふまえ、我が国の政策(「開発協力大綱」等)に照らし予算要求。②Do: 我が国の拠出金支払い、DACによる予算案執行。OECD代表部によるDACの運営・活動のモニタリング。③Check: 内部監査(事務総長官房内部監査・評価部が担当、DACの詳細評価も右部署が担当し、報告書を発出)、外部監査(現在、仏の会計検査院がOECDの外部監査機関)による監査報告書により成果を評価。イママークした我が国拠出金によるプロジェクトの繰越金・残余金は、終了後の会計報告により確認。④Act: DAC加盟国として発言し意思決定を行うDAC定例会合を通じ、必要に応じて改善を提言。DACとして意思決定のうえ、次期PWBに反映。また、DAC事務局(DCD)との個別協議を実施することも可能。				
担当課・室名	国際協力局 開発協力企画室				